

植物染料(紅・紫根)生産・製造
 紅花(餅)や紫根は伝統的な工芸品の染織に欠かせない染料。ペニ花や日本ムラサキなどの植物を栽培・加工して染料を作る
(一財)日本民族工芸技術保存協会
 ■体験:「紅花染め」

手漉和紙用具製作
 伝統的な手漉き和紙を作るための精密で強靱な用具を製作する技術が、日本の手漉き和紙を支える
全国手漉和紙用具製作技術保存会
 ■実演:「紙漉き用具漉き貫づくり」 ■体験:「コースターづくり」

からむし(苧麻)生産・苧引き
 からむしはイラクサ科の多年草で、福島県昭和村は上布用の高品質な苧麻の栽培技術を江戸時代から伝承
昭和村からむし生産技術保存協会
 ■体験:「『からむし』って何だろう!」
 ~植物から繊維(糸のもと)ができることを学ぼう!~

苧麻糸手績み
 苧麻の表皮から繊維を取り、細く裂き、撚り績み、撚り掛け、かし掛けの5つの工程で、宮古上布等の手績みの糸を製作
宮古苧麻績み保存会
 ■実演:「苧麻糸に撚りかける実演」 ■体験:「苧麻糸づくり体験」

歌舞伎衣裳製作修理
 歌舞伎の数ある演目に登場する役の衣裳は、色や柄など様々。それらを仕立て、着付け、修理し、歌舞伎の舞台を支える
歌舞伎衣裳製作修理技術保存会
 ■実演:「歌舞伎衣裳製作」

歌舞伎大道具(背景画)製作
 背景を描いた書割や、岩や樹木を描いて切り出す張り物など、歌舞伎の舞台を飾る舞台装置を製作する技術
歌舞伎大道具(背景画)製作技術保存会
 ■実演:「桜の背景画を描く」

歌舞伎小道具製作
 舞台上で使用する家具類、登場人物が身につける持ち物、更には駕籠などの乗り物など、歌舞伎に不可欠な小道具を製作する技術
歌舞伎小道具製作技術保存会
 ■体験:「根付鐙の箔押し体験」

組踊道具・衣裳製作修理
 組踊は、唱え(せりふ)、音楽、舞踊(所作)で構成される沖縄独自の歌舞劇。約300年の歴史がある組踊の上演に欠かせない道具や衣裳を製作修理する技術
組踊道具・衣裳製作修理技術保存会
 ■実演:「琉縫い実演」

邦楽器原糸製造
 三味線や箏、琵琶、胡弓などの弦楽器の絃に使用される原糸(繭から繰った糸)を製造する技術
木之本町邦楽器原糸製造保存会
 ■実演:「繭から糸を紡ぐ糸取り」
 ■体験:「生糸のランタンを作ってみよう」

箏製作/三味線棹・胴製作
 伝統楽器である「箏」と、「三味線」の棹・胴を製作する技術。適切な材を見極め、その特性や美演家の希望に応じて加工する
邦楽器製作技術保存会
 ■実演:「三味線棹 上仕込み・棹磨き・修理」

三味線製作修理
 三味線の棹と胴を組合せ(仕込み)、胴に革を張り、細部に加工を施して完成させる技術。演奏のしやすさや、音の響きを左右する重要なわざ
三味線製作修理技術保存会
 ■実演:「三味線皮張り」 ■体験:「黒檀で作るストラップ」

能装束製作
 能楽の魅力の一つである豪華な能装束は様々な染織技術を駆使して作られてきた。良質な能装束の製作技術の保存・伝承に努めていく
能装束製作技術保存会
 ※今回は、都合により出展いたしません。

会場アクセスのご案内			
車の場合	北陸新幹線 越前たけふ駅から	約15分	
	JR 福井駅から	約40分	
	ハピライン 鯖江駅から	約 5分	
	ハピライン 武生駅から	約15分	
徒歩の場合	ハピライン 鯖江駅から	約20分	
	福井鉄道 サンドーム西駅から	約15分	



※各団体の詳細は日本の技フェアホームページをご覧ください。
<https://nippon-no-waza.jp/expo/>

お問合せ

日本の技フェア事務局
 (NHKプロモーション内)
 TEL:03-6271-8515
 (11:00~17:00/土・日・祝を除く)

知っておきたい文化財を守る匠の技術

「文化財を守る匠の技術」についての物語をお楽しみいただけます。
<https://nippon-no-waza.jp/kids/>

文化財 日本技フェア
 にっぽんのわざ

文化財を未来に残していくための修理技術や材料・道具を製作する技術文化財の保存技術が一堂にあつまります。この機会にぜひご覧ください。

就職支援
選定保存技術に関する就職支援ブースを設置します。
 【選定保存技術とは】
 国では、「文化財の保存技術」のうち、保存の措置を講ずる必要があるものを「選定保存技術」として選定し、その技術者や保存団体を認定して、技の保存・伝承を図っています。

サンドーム福井メインホール

〒915-0096 越前市瓜生町5-1-1

2025. **11/22** 土 **23** 日 10:00 ▶ 16:00

入場無料

※体験は原則
事前予約が必要です。



体験の事前予約はこちら

<https://art-ap.passes.jp/user/e/nippon-no-waza-2025>

予約開始: 10月1日(水) 18:00 ~



展示・実演・体験の詳細い内容、体験の予約方法については、日本の技フェア2025ホームページをご覧ください。
<https://nippon-no-waza.jp/2025/>

主催: 文化庁 / 共催: 福井県教育委員会、全国文化財保存技術連合会 / 後援: NHK福井放送局

同時開催

福井お宝博
 見よっさ、知ろっさ、福井の技

福井県の文化財と伝統工芸が大集合!

詳細はこちら
<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/syoubun/fukuiotakarahaku.html>

福井県マスコットキャラクター
 はびりゅうとDinoはびねず





けん ぞう ぶつ しゅう り けん ぞう ぶつ もつ こう
建造物修理 / 建造物木工
国宝や重要文化財建造物の保存修理は、専門的な知識と経験を持つ技術者による設計監理により行われている

(公財)文化財建造物保存技術協会



けん ぞう ぶつ もつ こう
建造物木工
千数百年以上昔から連続と受け継がれ、日本の気候風土と融合、調和して発達を遂げてきた伝統的木造建築の木工技術

(一社)日本伝統建築技術保存会

■体験:「木工技術一継手・仕口の解体、組立」



けん ぞう ぶつ そうしよく
建造物装飾
寺院や社殿などの歴史的建造物に施されている漆塗や彩色、金具などの装飾を、伝統技法により鮮やかに蘇らせる

(一社)社寺建造物美術保存技術協会



ひわ だ ぶき こはらぶき かやぶき ひわ だ さいしゆ や ねいたせいさく
檜皮葺・柿葺・茅葺/檜皮採取/屋根板製作
檜の皮を竹釘で打ちとめ葺き重ねる檜皮葺など、古来より連続と受け継がれてきた我が国固有の屋根工法

(公社)全国社寺等屋根工事技術保存会

■実演:「伝統的な檜皮葺技術」■体験:「檜皮葺体験」



かや さいししゆ かや ぶき かや 茅(ススキ、ヨシなど)を育む茅場は生物多様性の宝庫
茅採取 / 茅葺
でもあり、毎年刈り取り、野焼きによって維持されている。茅葺きは、気候風土や生業に応じて、地域的に多様な形に発達してきた。茅を刈り取り、屋根を葺き、古茅を大地に施す。その循環の営みを未来に繋げる

(一社)日本茅葺き文化協会

■実演:「茅葺き」■体験:「ススキのほうき作り」



けんぞうぶつさいしき けんぞうぶつうしぬり
建造物彩色 / 建造物漆塗
世界遺産に登録されている日光二社一寺において、彩色や漆塗の様々な技術を駆使し、美しく荘厳な建物を維持し続ける

(公財)日光社寺文化財保存会

■実演:「建造物彩色(彫刻の彩色) / 建造物漆塗(彫刻金箔押し)」



や ね がわら ぶき ほんがわら ぶき
屋根瓦葺(本瓦葺)
伝統的な建築物に多く使われる本瓦葺は、優美な屋根の曲線や軒の反りと風雨への対策を兼ね備える高度な技術

(一社)日本伝統瓦技術保存会

■実演:「鬼瓦等役物瓦作成」■体験:「型押し体験」



や ね がわら ぶき りゅうきゅうがわら ぶき
屋根瓦葺(琉球瓦葺)
琉球瓦葺は雌瓦(平瓦)、雄瓦(丸瓦)、髭瓦(軒平滴水瓦)、花瓦(軒丸瓦)の四種類のみで葺き上げ、自地や棟を漆喰で塗り固め、棟隙に通気口(イーチミー)を設けるなど、高温多湿で降水量が多い琉球文化圏に伝わる独自の瓦葺技術

琉球瓦葺技術保存会



さ かん に ほん かべ
左官(日本壁)
茶室の古式京壁、城郭の漆喰壁など、美しさと強靱さを持つ壁には、材料の吟味、調合方法、平滑に見せる仕上げなど、熟練の技術が必要

(一社)全国文化財壁技術保存会

■実演:「竹小舞掻き」



たて ぐ せい さく
建具製作
伝統的な木造建造物に使用されている様々な形式の建具を修理または新調するためには、繊細な木組みの技術が必要

(一財)全国伝統建具技術保存会

■実演:「文化財建具の修復」



たたみ せい さく て おり なか つぎ おもて せい さく
畳製作 / 手織中継表製作
文化財建造物に使用されている装飾的な紋縁などの様々な様式の畳を継承するため、紋合わせなど特殊な技術の継承が必要

(一社)文化財畳技術保存会

■実演:「御茵の製作」



そう こう しゅう り ぎ じゅつ ※1
装演修理技術
絵画や書跡などを修理する技術。装演の技術により、紙や絹など弱い材料でできている文化財が今も姿を残す

(一社)国宝修理装演師連盟

■実演:「古文書の補修」■体験:「古文書の補修をやってみよう!」



そう こう しゅう り ざいりょう よう ぐ せい さく
装演修理材料・用具製作
紙、木工、金工、染織、漆工など装演修理を支える伝統技術の共通の諸問題の解決に、分野を超えて取り組む

(一社)伝統技術伝承者協会

■体験:「組紐のキーホルダーやプレスレットを作ってみよう!」



もく ぞう ちょう こく しゅう り
木造彫刻修理
木造の仏像などの文化財を修理する技術で、部材のゆるみや虫蝕部の補修、彩色・漆箔の剥落止めなどを行う

(公財)美術院

■体験:「木製彫り体験」



ひょう ぞう ざれ せい さく
表装製製作
書画などの美術品は、金欄や綴子といった織物を用いて掛け軸や巻物に仕立てられる。装演修理に欠かせない織物の技術を守り伝える

(一社)文化財修理表装製継承協会

■体験:「美術織物でオリジナル缶バッジをつくろう!」



うき よ え もく ほん が ぎ じゅつ
浮世絵木版画技術
江戸時代に発達した木版の技術が浮世絵を生み、ヨーロッパを夢中にさせた。江戸時代と同じ図柄を同じ方法で複製する

浮世絵木版画彫摺技術保存協会

■実演:「浮世絵木版画技術 彫り、摺り」

■体験:「国芳「金魚づくし ぼんぼん」または「猫鶴好五十三足」伝統道具で摺る」



まつり や たい とう せい さく しゅう り
祭屋台等製作修理
多様な技術で構成される山・鉾・屋台などの製作修理の技術。日本の伝統ある多様な技術の粋が集められている

祭屋台等製作修理技術者会

■実演:「祭の刺繍」■体験:「文様を繡う」



ぶん か ざいてい えん ほん ぞん ぎ じゅつ
文化財庭園保存技術
石、水、植物が美しく配されている庭園には様々な技術が受け継がれている。伝統的日本庭園を未来に残すための技術

文化財庭園保存技術者協議会

■体験:「庭園の番人“関守石”づくり」



ぶん か ざい いし がき ほん ぞん ぎ じゅつ
文化財石垣保存技術
城郭などに用いられる石垣を修復するための石材加工の技法や石を積む・組む技術の継承

文化財石垣保存技術協議会



たけ おさ せい さく
竹箴製作
箴は機織りのときに、タテ糸を通しておいてヨコ糸を打ち込む用具。昔から使われてきた竹で作る箴の製作技術をうけついでいる

日本竹箴技術保存研究会

■実演:「竹材から箴羽へー竹箴の材料となる竹の加工」

■体験:「(1)箴引き」(2)「竹箴組み」(3)「箴通し」



えん つけ きん ばく せい ぞう
縁付金箔製造
箔打紙に金を挟んで極めて薄く打ち延ばした縁付金箔は、漆器の装飾や建造物の保存修理に使われる

金沢金箔伝統技術保存会

■実演:「金箔うつし」■体験:「金箔貼り & 彩色体験」



もく たん せい ぞう
木炭製造
日本刀製作や製鉄に必要な松炭・雑炭、漆器や金工で必要な研磨炭など、様々な工芸用木炭を製造する技術

(同)伝統工芸木炭生産技術保存会

■体験:「金属を磨いて、オリジナルキーホルダーをつくろう」



たま はがね せい ぞう
玉鋼製造
江戸時代以来の製鉄法(たたら吹き)によりつくられる純度の高い玉鋼が日本刀の製作には不可欠

(公財)日本美術刀剣保存協会



うるし せい さん せい せい ※2
日本産漆生産・精製
文化財には日本で生産された漆が多く用いられているため、漆の木を植え、育て、塗料になるよう樹液を精製する技術が必要。本協会は漆樹の植栽林を設け、漆栽培や精製技術等の研修を行っている

日本文化財漆協会

■体験:「国産漆で「沈金」体験」



うるし せい さん せい せい ※2
日本産漆生産・精製
「漆掻き」とは漆の木の幹に一字に傷をつけ、傷を癒そうと木が出す樹液(生漆)をへらで掻きとって採取する技術。本会は漆採取技術の保存・振興を目的として漆掻き技術等の研修を行っている

日本うるし掻き技術保存会

■実演:「漆掻き」



うるし せい さん せい せい ※2
日本産漆生産・精製
日本各地では、その土地のウルシに対応した漆の生産技術が育まれている。丹波漆は西日本においてウルシの植栽及び漆掻き技術の伝承・普及啓発に至る様々な事業を、地域に密着した取組として行っている

特定非営利活動法人 丹波漆

■実演:「丹波の漆掻き一瀬しめ掻き実演一」



りゅうきゅう あい せい ぞう
琉球藍製造
古くから沖縄県本部町で盛んに栽培・染料づくりが行われ、沖縄の染織品には欠かせずことの出来ない主染料として、染織工芸を支えている

琉球藍製造技術保存会



あ わ あい せい ぞう
阿波藍製造
徳島の藍師が伝統を守りながら大切につくり続ける天然の染料「すくも」。藍色の美しい風合いを届け続ける

阿波藍製造技術保存会

■実演:「阿波藍の品質鑑定法「手板法」の実演」